

会 議 録 (概要)

会議の名称	佐渡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（案）に関する意見交換会
開催日時	令和2年1月29日（水） 19時～20時
場所	あいぽーと佐渡
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 意見交換会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 資料説明 2) 補足説明 3) 意見交換 4 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	<p>≪市民≫ 6名</p> <p>≪市役所≫ 9名</p> <p>市長 三浦 基裕</p> <p>副市長 伊藤 光</p> <p>企画課長 猪股 雄司</p> <p>企画課課長補佐 中川 裕二</p> <p>企画課行革推進係長 椎 俊介</p> <p>企画課行革推進係主事 菊池 勇司</p> <p>企画課政策推進係長 安藤 辰也</p> <p>企画課政策推進係主任 松本 亜沙美</p> <p>企画課政策推進係主事 北見 航希</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	3名（朝日新聞社、読売新聞社、新潟日報社）
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
中川課長補佐 伊藤副市長 猪股課長	<p>（開会）</p> <p>（挨拶）</p> <p>（配布資料1～4に基づき説明）</p> <p>（配布資料5～7に基づき説明）</p> <p>（捕捉説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、個別施設計画（案）についてはパブリックコメントを実施中である。計画内容については、市が抱える 800 近い施設の個別対応策や対策費用を明らかにするものである。 ・しかし、個々の施設の個別対応策については行政のみでは決定できないため、利用者等との対話の中で検討を進めたい。計画としては今回策定するが、具体的対応策が決定しているものはごくわずかである。それ以外の施設については、まさにこれから市民の皆様と 2 次評価について決定する段階にある。 ・個別施設計画（案）の第 5 編には市の考え方を記載しているが、これは決定事項ではない。「将来ビジョン」「第 3 次集中改革プラン」等において既に方針が決定している施設もあるが、それらも含めて市民との対話の中で進めたい。 ・今後の財政見通しについては厳しいものがある。施設の整理は難しい問題だが早急に取組む必要がある。本日は個別施設の内容については議論しないが、今後の進め方についてご意見をいただきたいと考えており、まずは、平成 30 年度に実施したアンケート結果を抜粋して紹介する。 <p>（配布資料の7に基づき説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私どもとしては、総合管理計画においても「佐渡市全体の観点から適切な管理を推進していく」としており、本日はこの観点においても皆様よりご意見をいただきたい。 <p>（意見交換）</p>
中川課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・1月10日よりパブリックコメントを開始している。本庁、支所・行政サービスセンター、今回の意見交換会の各会場に個別施設計画(案)を置かせていただいている。1次評価、2次評価に関する記載もあるので、是非ともご覧いただき、忌憚のないご意見をいただきたい。 ・意見交換会については本日で4回目の開催である。今回は5会場を設定しており、最終は2月1日の金井会場である。各会場で同じ説明をしている。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・私の方から、皆様よりご意見いただきたい点についてお話す。 ・先ほどのアンケート結果でも説明したが、旧市町村エリアを脱却し新たなエリア分けを考え、その中で再配置を検討するという考え方である。 ・エリアの分け方については検討中であるが、アンケート結果からは施設を利用しやすい距離ということでは「車で30分圏内」という回答が多かったため、距離間でのエリア分けが分かりやすいものとする。その中で、施設類型別に

<p>中川課長補佐</p>	<p>距離感等で分けることがよいのかなと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の会場でもエリア分けについてはご意見があった。その方向を検討したいと思う。エリア数は今後の検討になるが、このあたりの考え方にご意見があればいただきたい。 ・もう1点は、その再配置を検討するに際しての市民の皆様との検討方法についてである。最近ワークショップ形式が有効と聞いている。これまでは、行政が素案を作成し、それに対してご意見をいただくという方法が主であった。無論、両方できればよいが、取扱う内容が施設の統廃合ということで、委員形式であると委員の方の負担がかなり多くなることが懸念される。そういったあたり、何かしらよい方法があれば教えていただきたい。 ・エリア分けについては、アンケート結果では「4のエリア」という回答もある。人口分布に留意すべきというご意見もある。 ・今後の計画の進め方については、2次評価に進む時にどのように進めたらよいかについてご意見をいただきたい。これ以外のご質問でも結構である。アドバイスなりご意見等あればいただきたい。
<p>A氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々とお聞きしたいことがある。本日の意見交換会の広報の方法はどのようなものか。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、市民メール、CATV、SNS等、現在活用できる広報ツールについてはすべて活用している。
<p>A氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2次将来ビジョン」の意見交換会の時もそうであったが、両計画を合同で開催するなどの工夫が必要だったのではないか。設えについても車座形式や、説明を聞く側にもメモ等しやすいように机があるなどの配慮が必要ではないのか。改善できる部分は改善いただきたい。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の意見交換会は2月1日が最終日である。机についてはあってもよいかなと考えている。工夫したい。
<p>A氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア分けについては、個人的には4エリアをベースに考えることでよいかと思う。定性的・定量的の両面から見て、4エリアで「どの施設を残し、どの施設を壊すか」を議論すべきである。 ・佐渡の地理的な重心は地図に指を立てれば分かる。人口的な重心についても然りである。説明をしっかりとするために数的根拠に基づいて位置を割り出し、地域性を考慮し、「ここは30分圏内に体育館があるので、廃止もやむなし」といった方法で、市民の皆様になんて納得いただく形がある。 ・そのあたりについて、どのような作戦をお考えか。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なエリア分けについては皆様の意見を聞いてから考えたい。 ・先ほど分かりやすく距離感に例えて説明をしたが、人口密度で言えば佐和田地区、両津地区が多い形となる。車で30分圏内となると両津地区から佐和田地区までをカバーできる。そうすると、やや圏域が広がるため、車で15分圏内の方がよいのかも考えたい。その場合も、両津地区を中心と考えると新穂地区から畑野地区あたりはカバーできるかと思う。佐和田地区は民間施設も含めて佐

	<p>和田地区で完結している感があり、1 地区としてもよいという考えもできるかも知れない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部についても羽茂地区、小木地区、赤泊地区を1 エリアと考えがちだが、距離については、松ヶ崎地区と赤泊地区が近く1 エリアとも考えられる。小木地区と羽茂地区は15 分圏内である。これ以外では、大佐渡・小佐渡の山間部と、鷲崎地区、前浜地区をどのように考えるのかである。体育館に限って言えば、両地区とも小中学校の体育館を活用しており、他の施設については市街地に集約されている。このあたりのことも踏まえながら検討したい。
A 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果においても、移動時間の理想は15 分だが、30 分以内も許容範囲であると理解する。しかし、これはあくまで自家用車両を持つ方の話である。交通弱者を含めて考えると「公共交通を含めて15～30 分」という観点も必要である。この観点を忘れると、施設を利用しづらい方が生じることになる。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納者を含め、車に乗れない方の2 次交通の考え方も加味しなければならないと思う。ただ、施設類型によっては利用頻度の高低がある。施設全体として見渡すのか、施設類型ごとに見渡すのかも考えたい。
A 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・定量化・定性化し、活用されている施設ほど改良していただきたい。 ・最後の質問になるが、どのようにして個別施設の「継続・廃止」のジャッジをするのか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど私から皆様に質問した部分と関連するが、最終的なジャッジについては行政のみで決定することは難しい。協議会なりをエリアごとに作ることも想定し、全体のことについては構想段階であり今後検討する。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課長の説明に補足する。 ・施設類型によって市民の反応や考えも違うと思う。その意味では、利用頻度の高低によっても考え方は異なり、各々の施設によって検討に要する時間に差が出るものと思う。現時点では、具体的個別対応策については24 施設のみ決定しているが、今後、類型別に2 次評価の完了目標を定めた施設から順次話し合いを進めないと、約800 もある施設を一度にはご理解いただけないと思う。 ・アンケート結果からは「統廃合についてはやむなし」と読み取れるが、仮に地元の最寄の施設が廃止することとなると意見や反応は変わる。この反応についても施設類型により異なるものと思われることから、丁寧に進めるためには、順次2 次評価を重ね、理解を得ながら確定せざるを得ないと思う。
中川課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどより「施設類型」という言葉を用いているが、これは本日配布の資料にはない言葉である。担当課長より補足説明を求めたい。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設について、この施設類型によって12 分類している。 ・類型1 は公園施設である。都市公園や児童遊園等である。 ・類型2 は住宅施設である。市営住宅や教職員住宅である。 ・類型3 は民生関連施設、類型4 は環境衛生施設、類型5 は診療施設、類型6 は産業関連施設、類型7 は会館施設、類型8 は教育関連施設、類型9 は社会教育施設、類型10 が体育館等を含む保健体育施設、類型11 は消防施設。そして類

<p>B 氏</p>	<p>型 12 はその他の施設ということで、類型 1～11 に分類されない施設である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長からの説明のとおり、この施設類型別の検討が必要である。 ・一言だけ申し上げたい。 ・1 点目は総合管理計画についての考え方である。説明を受けた感じでは経済的な部分がクローズアップされており、地域の方の視点に欠けると感じた。 ・それから、市長からの説明にもあった、佐渡市全体の観点から取捨選択を考えてよい施設もあれば、地域住民に密着し、全体の観点だけでは取捨選択を考えられない施設もある。検討を進める中で、地域と密着した施設については廃止することなく、より整備を進めていただきたい。これが 2 点目である。アンケート結果にある「統廃合を進めれば、地域格差が必ずでて、一層過疎化が進む」というご意見を頭に入れて検討いただきたい。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘いただいたとおりである。 ・要するに、地域によって人口密度や集落の配置具合も違う。その中で、「身近に感じる施設」については、大規模施設を廃止する代わりに身近の小規模な既存施設を用途変更によって活用するなどの考え方が必要である。 ・その意味では、例えば市営住宅施設についてはある程度利用者は限定されているが、学校や公民館については市民の生活に密着しており、ここは類型別に皆様の意見をきちんと聞いて、利便性を考えながら考えたい。佐渡市全体で見渡せばよい施設とは区分けして考えたい。
<p>B 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の中で「利用率の高い施設は残し、利用率の低い施設は統廃合する」という考えはあるかと思う。しかし、そこに加え、当該施設がそこで暮らす人にとってどれだけ大事な施設かという視点も含めて検討いただきたい。お願いしたい。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆様の思い入れは施設類型によっても違うと思う。合併以降、統廃合の計画は作ってきたし、市民の皆様への説明にも入った。しかし、計画どおりには進まないものがある。 ・その最たるものは学校である。学校には通学距離の問題もあり、児童数の問題もある。その一方で、教育として複式学級となるデメリットについても説明して理解を求めてきた。しかし、学校は地元の拠り所でもあり理解を得られない。 ・あくまで、「どういう条件であれば統廃合についてご理解いただけるか」という点についても地域別に組み立てなければならない。意見交換会等諸々において、次の素案を作りながら示す作業を続けなければならない。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の意見交換会については、佐渡テレビにおいて 2 月 3～9 日まで 1 日 4 回放映予定である。 ・また、繰り返しになるが個別施設計画（案）は当会場にも両津支所にも本庁にも設置している。パブリックコメントは 2 月 10 日までである。閲覧場所にもその旨記載してあるので、ご欄いただきたい。パブリックコメント実施期間以降でも、企画課宛てにお問い合わせいただきアドバイス等いただきたい。
<p>伊藤副市長</p>	<p>(挨拶・閉会)</p>

